

ご購入のお申し込みはお近くのY販売店または、

0120-4343-81

携帯電話からは、つながらない場合があります。

YOMIURI ONLINE
http://www.yomiuri.co.jp/

読売新聞

2017年(平成29年) 3月11日 土曜日

発行所
読売新聞大阪本社

〒530-8551
大阪市北区野崎町5-9
電話 (06)6361-1111(代)
http://www.yomiuri.co.jp/

ひょうご博覧会
in大阪

特別号外

ひょうご博覧会 in 大阪開催



テンポの良いデカンショ節に合わせた伝統舞踊



躍動感あふれるよさこい踊り

踊りやお酒で兵庫を再発見

食や文化など様々な角度から兵庫県を紹介する「ひょうご博覧会 in 大阪」が11日、大阪市北区の毎日放送「ちゃやまちプラザ」で開かれた。

このイベントは、兵庫県を「神戸・阪神」「播磨」「但馬」「丹波」「淡路」のいわゆる五国に分け、地域ごとに魅力をアピールするのが狙い。MBSラジオの公開生放送をはじめ、数々のステージイベントが繰り広げられたほか、ご当地グルメを堪能できる多くの屋台も出展され、訪れた人たちが楽しませた。

午後4時、「踊っこまつり振興会」(兵庫県加古川市)によるよさこい踊りがスタート。約30人の女性が鮮やかな衣装をまとい、迫

力のある踊りを披露した。続いて、「篠山デカンショ節保存会」(同県篠山市)による舞踊が始まった。デカンショ節は、全国的に知られる地元の民謡。会長の山田良一さん(73)は「来場者から手拍子もあった。デカンショ節独特のリズムを楽しんでもらえてうれしい」と話した。

会場に設けられた「五国のお酒」コーナーでは、兵庫県内約30銘柄の日本酒が試飲、販売された。朝来市(あさこし)コーナーの宮谷泰史さん(40)は「300年育まれた朝来の地酒を堪能してほしい」と語った。

「ひょうご博覧会 in 大阪」は12日も午前10時30分から午後5時まで開催される。(同志社大学 馬場達也)



朝来市コーナーで日本酒をPRする宮谷泰史さん(中央)